

平成30年度 岐阜県家庭教育支援推進事業（家庭教育支援員）の活動報告書

◆市町村名

中津川市

◆配属部署

文化スポーツ部生涯学習スポーツ課

◆家庭教育支援員の役割

家庭教育支援員が「家庭教育支援チーム」メンバーであるということから、住民主体の家庭教育支援をますます強化することが期待できる。支援員が人と人のネットワークを作り、一人でも多くの保護者に学習機会を提供することで、裾野の広い家庭教育支援を実施する。

*中津川市では平成20年度より「子育てサポーター養成講座」開催。平成22年度、講座履修生による「家庭教育支援チーム」が発足し、家庭教育学級の企画・運営、集団託児を実施している。

◆主な活動

■人材育成

- ・子育てマイスター養成講座の開催（※旧子育てサポーター養成講座）
9月で子育てサポーター養成講座（受講生累計390人）を改め、10月から新たに第1期子育てマイスター養成講座を開始（新規受講生48人）
ファミリーサポートセンターの方も講座を受講し、日々の業務に役立っている
- ・子育てサポーター養成講座受講生が、講座修了後、家庭教育支援チームの一員として、また地域住民として各地域で活躍

■学習機会の提供

- ・地区で実施の乳幼児学級の支援（13地区全て）
- ・幼小中学校で開催の家庭教育学級の支援
（8園・17校）※2月1日現在
- ・特別講話（講師：元東京家庭教育研究所 佐藤カヨ氏、
子育てを楽しむ会 迫きよみ氏）

■ネットワークの形成

- ・家庭教育推進会議の開催（行政担当課長参加）
- ・ネットワークフォーラムの開催（子育て中の保護者42組参加）
- ・乳幼児期家庭教育学級リーダー交流会
（乳幼児学級のリーダーと各乳幼児学級担当者）

◆成果

- 「人材育成」を通して生まれる家庭教育支援のよい循環
子育てサポーター養成講座（子育てマイスター）の受講生が、講座修了後も家庭教育支援チームとして子育て中の保護者にかかわる機会があり、人材育成の好循環が生まれている。家庭教育支援員は、子育ての先輩と子育て中の保護者の自然なかかわりを作っている。
- 主体的に家庭教育に取り組む保護者を育成
13地区全てで乳幼児学級が開催され、そのうち60%は保護者自らが企画・運営をしている。家庭教育支援員は企画・運営の支援をしながら、保護者の「親育ち」を支えている。
幼小中学校で開催される「家庭教育学級」の運営支援を行い、学習の機会を提供している。
- 保護者と行政と地域をつないだ家庭教育力向上
支援員（家庭教育支援チーム）が、立場や環境の違う人と人とのつながりをネットワーク化したことで、保護者のニーズを行政に伝えたり、親の孤立化を防いだり、地域が子育て中の保護者世代に目を向けたりする「地域で家庭教育を支える基盤」が強固なものとなってきた。
- それぞれの地域の実情に応じた乳幼児学級の運営（リーダー交流会）
家庭教育学級についての学びの提供とそれぞれの学級の情報の共有によりリーダー相互のネットワークづくりを行えた。また、学級生と担当職員とのコミュニケーションの場、それぞれの思いや考えの共有の場となった。

◆問い合わせ先

中津川市役所生涯学習スポーツ課（松木・安藤）

0573-66-1111（4313）